



## 2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月12日

上場会社名 藤倉化成株式会社

上場取引所 東

コード番号 4620 URL <http://www.fkkasei.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 加藤 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 栗原 進

TEL 03-3436-1101

四半期報告書提出予定日 2021年11月12日

配当支払開始予定日

2021年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	25,032	17.6	1,299		1,361		914	
2021年3月期第2四半期	21,294	24.2	366		141		308	

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 2,096百万円 ( %) 2021年3月期第2四半期 919百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	28.72	
2021年3月期第2四半期	9.68	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	53,124	38,287	66.9
2021年3月期	53,795	36,505	63.0

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 35,548百万円 2021年3月期 33,870百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		8.00		8.00	16.00
2022年3月期		8.00			
2022年3月期(予想)				8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,500	6.1	2,800	72.8	3,000	58.1	1,900	55.7	59.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4)四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	32,716,878 株	2021年3月期	32,716,878 株
期末自己株式数	2022年3月期2Q	887,714 株	2021年3月期	887,714 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	31,829,164 株	2021年3月期2Q	31,829,164 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2021年11月12日(金)にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルスワクチンの接種が進む一方で、変異型ウイルスの感染拡大や半導体の供給不足等の影響を大きく受けており、今後も予断を許さない状況が続くものと思われまます。海外経済におきましても、新型コロナウイルス感染症の再拡大によるロックダウンや半導体の供給不足等による工場の停止、海上輸送や通関の遅延による物流混乱などもあり先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の下、当第2四半期連結累計期間の売上高は250億32百万円（前年同期比17.6%増）となり、営業利益は12億99百万円（前年同四半期は営業損失3億66百万円）、経常利益は13億61百万円（前年同四半期は経常損失1億41百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億14百万円（前年同四半期は四半期純損失3億8百万円）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① コーティング

プラスチック用コーティング材（『レクラック』・『フジハード』など）を取扱うコーティング部門におきましては、8月以降、半導体の供給不足やコロナ禍によるASEANサプライチェーン断絶の影響から自動車生産台数の減少に伴い、主力の自動車向け製品の需要は低調に推移いたしました。非自動車分野では、化粧品市場において流通在庫の減少やワクチン接種の広がりに伴うマスク解消への動き等により、化粧品容器向け製品の販売が堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は117億44百万円（同58.6%増）となり、営業利益は7億45百万円（前年同四半期は営業損失6億41百万円）となりました。

#### ② 塗料

建築用塗料を取扱う塗料部門におきましては、夏季の長雨の影響等を受けて工事件数が減少したこと等により、リフォーム向け製品の需要が予測に比べ低調に推移いたしました。前期比では堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は62億69百万円（同15.0%増）となり、営業利益は4億2百万円（同361.5%増）となりました。

#### ③ 電子材料

導電性ペースト材（『ドータイト』）などを取扱う電子材料部門におきましては、車載、通信、パソコン等の電子部品向けの接着剤や基板用銀ペーストが好調に推移いたしました。また、巣ごもり需要を受け、パソコン向けのフィルム回路用の銀・粘着剤が堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は20億80百万円（同33.6%増）となり、営業利益は82百万円（同271.2%増）となりました。

#### ④ 化成品

トナー用レジン、樹脂ベース（『アクリベース』）やメディカル材料などを取扱う化成品部門におきましては、前期の落ち込みからトナー市場は回復傾向にあり、パソコンをはじめとするエレクトロニクス市場の需要が高水準に推移いたしました。また、粘着剤分野においては、エレクトロニクス分野での新規材料のトリブロックポリマーや壁紙用粘着剤等が売上増に貢献いたしました。メディカル材料分野では、インド・ベトナムでの拡販に成果があったものの、中国・EU市場での拡販が足踏み状態となり、低調に推移いたしました。

この結果、売上高は20億1百万円（同25.1%増）となり、営業利益は1億16百万円（同438.9%増）となりました。

#### ⑤ 合成樹脂

子会社藤光樹脂株式会社などが取扱うアクリル樹脂の原材料・加工品の販売におきましては、飛沫防止関連製品は需要が一服したこともあり、販売が低調に推移いたしました。また、半導体の供給不足等により、車載向け製品の需要が低調に推移いたしました。

この結果、売上高は29億82百万円（同43.9%減）となり、営業損失は46百万円（前年同四半期は営業利益1億45百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債・純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ6億71百万円（前連結会計年度末比1.2%）減少し、531億24百万円となりました。

① 流動資産

受取手形及び売掛金の減少などの結果、前連結会計年度末と比べ12億31百万円（同3.7%）減少し、316億26百万円となりました。

② 固定資産

有形固定資産の取得による増加及び投資有価証券の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ5億60百万円（同2.7%）増加し、214億99百万円となりました。

③ 流動負債

支払手形及び買掛金の減少などの結果、前連結会計年度末と比べ24億97百万円（同18.1%）減少し、112億86百万円となりました。

④ 固定負債

退職給付に係る負債の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ44百万円（同1.3%）増加し、35億52百万円となりました。

⑤ 純資産

為替換算調整勘定及び利益剰余金の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ17億82百万円（同4.9%）増加し、382億87百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の63.0%から66.9%へと3.9ポイント増加となり、1株当たり純資産額は、前連結会計年度末より52円71銭増加し、1,116円83銭となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ5億75百万円増加し、123億57百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払が3億10百万円であったものの、税金等調整前四半期純利益13億61百万円や減価償却費7億25百万円などにより、13億4百万円の収入（前年同四半期連結累計期間は6億42百万円の収入）となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出8億56百万円、無形固定資産の取得による支出14百万円などにより、5億51百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は5億18百万円の支出）となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金により2億55百万円の支出などがあったため、3億94百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は1億75百万円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の通期の連結業績予想は、2021年8月6日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,730,767	12,959,902
受取手形及び売掛金	12,866,377	10,357,537
商品及び製品	3,969,448	4,373,653
仕掛品	56,747	94,010
原材料及び貯蔵品	2,353,552	2,994,900
その他	1,031,110	983,183
貸倒引当金	△150,949	△137,299
流動資産合計	32,857,052	31,625,886
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,504,206	12,878,839
減価償却累計額	△7,010,500	△7,276,474
建物及び構築物 (純額)	5,493,706	5,602,365
機械装置及び運搬具	14,281,284	14,791,216
減価償却累計額	△11,914,060	△12,388,702
機械装置及び運搬具 (純額)	2,367,224	2,402,514
工具、器具及び備品	5,150,624	5,309,350
減価償却累計額	△4,297,945	△4,474,040
工具、器具及び備品 (純額)	852,679	835,310
土地	4,492,078	4,536,261
リース資産	703,640	762,630
減価償却累計額	△288,381	△337,928
リース資産 (純額)	415,259	424,702
建設仮勘定	198,661	172,145
有形固定資産合計	13,819,607	13,973,297
無形固定資産		
ソフトウェア	150,785	126,343
その他	812,926	852,397
無形固定資産合計	963,711	978,740
投資その他の資産		
投資有価証券	3,038,212	3,274,971
長期貸付金	67,950	68,956
繰延税金資産	599,185	562,536
その他	2,888,403	3,079,114
貸倒引当金	△438,971	△439,031
投資その他の資産合計	6,154,779	6,546,546
固定資産合計	20,938,097	21,498,583
資産合計	53,795,149	53,124,469

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,709,815	5,395,964
短期借入金	2,893,770	3,037,390
リース債務	91,887	100,958
未払法人税等	168,715	260,940
未払費用	940,212	907,722
賞与引当金	588,057	652,562
その他	1,390,482	930,347
流動負債合計	13,782,938	11,285,883
固定負債		
リース債務	214,581	207,960
繰延税金負債	139,476	148,041
退職給付に係る負債	2,708,350	2,751,628
長期未払金	116,954	109,569
その他	327,886	334,462
固定負債合計	3,507,247	3,551,660
負債合計	17,290,185	14,837,543
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,352,121	5,352,121
資本剰余金	5,040,199	5,040,199
利益剰余金	24,027,316	24,686,813
自己株式	△524,976	△524,976
株主資本合計	33,894,660	34,554,157
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	476,672	640,604
為替換算調整勘定	116,986	856,313
退職給付に係る調整累計額	△618,348	△503,439
その他の包括利益累計額合計	△24,690	993,478
非支配株主持分	2,634,994	2,739,291
純資産合計	36,504,964	38,286,926
負債純資産合計	53,795,149	53,124,469

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	21,294,027	25,032,164
売上原価	15,663,332	17,237,705
売上総利益	5,630,695	7,794,459
販売費及び一般管理費	5,996,665	6,495,671
営業利益又は営業損失(△)	△365,970	1,298,788
営業外収益		
受取利息	32,391	12,981
受取配当金	23,889	23,262
固定資産賃貸料	35,954	35,234
持分法による投資利益	5,394	10,071
為替差益	129,042	-
その他	57,031	69,139
営業外収益合計	283,701	150,687
営業外費用		
支払利息	20,844	24,569
為替差損	-	40,666
固定資産除却損	20,656	2,436
その他	16,937	21,051
営業外費用合計	58,437	88,722
経常利益又は経常損失(△)	△140,706	1,360,753
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	△140,706	1,360,753
法人税、住民税及び事業税	101,929	392,247
法人税等調整額	5,995	△34,122
法人税等合計	107,924	358,125
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△248,630	1,002,628
非支配株主に帰属する四半期純利益	59,360	88,498
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△307,990	914,130

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△248,630	1,002,628
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	79,309	163,819
為替換算調整勘定	△718,431	847,640
退職給付に係る調整額	△2,347	114,909
持分法適用会社に対する持分相当額	△29,105	△33,457
その他の包括利益合計	△670,574	1,092,911
四半期包括利益	△919,204	2,095,539
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△918,811	1,932,298
非支配株主に係る四半期包括利益	△393	163,241

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△140,706	1,360,753
減価償却費	708,172	724,638
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3,691	28,081
賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,031	62,013
貸倒引当金の増減額(△は減少)	22,203	△22,587
受取利息及び受取配当金	△56,280	△36,243
支払利息	20,844	24,569
売上債権の増減額(△は増加)	1,460,299	2,757,933
棚卸資産の増減額(△は増加)	83,071	△837,801
その他の流動資産の増減額(△は増加)	23,249	△124,043
仕入債務の増減額(△は減少)	△717,460	△2,474,162
その他の流動負債の増減額(△は減少)	81,623	△25,730
その他	△389,251	20,457
小計	1,082,042	1,457,878
利息及び配当金の受取額	60,015	36,334
利息の支払額	△14,878	△24,362
法人税等の支払額	△499,217	△310,287
法人税等の還付額	13,626	144,195
営業活動によるキャッシュ・フロー	641,588	1,303,758
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,283,860	△194,220
定期預金の払戻による収入	1,378,225	568,600
有形固定資産の取得による支出	△568,538	△856,398
無形固定資産の取得による支出	△8,634	△13,522
投資有価証券の取得による支出	△12,269	△4,739
その他	△23,360	△51,114
投資活動によるキャッシュ・フロー	△518,436	△551,393
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	568,274	-
リース債務の返済による支出	△49,716	△49,623
配当金の支払額	△254,633	△254,633
非支配株主への配当金の支払額	△88,745	△89,246
財務活動によるキャッシュ・フロー	175,180	△393,502
現金及び現金同等物に係る換算差額	△100,619	216,412
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	197,713	575,275
現金及び現金同等物の期首残高	11,801,033	11,782,017
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,998,746	12,357,292

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、代理人に該当する取引について、従来は他の当事者が提供する財またはサービスと交換に受け取る額を収益として認識しておりましたが、他の当事者が提供する財またはサービスと交換に受け取る額から当該他の当事者に支払う額を控除した純額を収益として認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

これによる、四半期連結財務諸表への影響は軽微であります。また、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コーティング	塗料	電子材料	化成品	合成樹脂	計
売上高						
外部顧客への売上高	7,404,518	5,452,730	1,556,768	1,599,045	5,280,966	21,294,027
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	78	36,464	36,542
計	7,404,518	5,452,730	1,556,768	1,599,123	5,317,430	21,330,569
セグメント利益又は損失(△)	△641,064	87,099	22,014	21,542	144,569	△365,840

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△365,840
セグメント間取引消去	△130
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△365,970

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	コーティング	塗料	電子材料	化成品	合成樹脂	計
売上高						
顧客との契約から生じる収益	11,743,869	6,268,775	2,080,059	2,000,980	2,938,481	25,032,164
外部顧客への売上高	11,743,869	6,268,775	2,080,059	2,000,980	2,938,481	25,032,164
セグメント間の内部売上高又は振替高	16	-	-	155	43,226	43,397
計	11,743,885	6,268,775	2,080,059	2,001,135	2,981,707	25,075,561
セグメント利益又は損失(△)	745,131	401,964	81,709	116,081	△46,269	1,298,616

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,298,616
セグメント間取引消去	172
四半期連結損益計算書の営業利益	1,298,788

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(会計方針の変更)に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

これによる、報告セグメントへの影響は軽微であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。